

国土交通省技監 谷口 博昭

てやってもらうように ことが、信頼回復の第一歩。職員が委縮して身をすくめていては、本来の税金の無駄遣いなど公務員への批判が高まっており、襟を正してモラルの向上に取り組むよう、自戒しています。本来あるべき仕事に真摯に取り組まなければならないと思う一

「community」の原義は「他人と共有すること」。情報、意見、気持ちを相互に伝え合って価値感を共有し、一体となって、将来世代に恥じない確な対応をしたい、と思います。

私は、情報ギャップ、コミュニケーションギャ

「沈黙は金なり」と言いますが「雄弁は銀なり」とセツトの諺です。

## 外向きに、未来へ

麻生太郎首相は、初の

事務次官会議で「官僚4原則」を訓示しました。

「スピーディーな仕事」

一方、職員が自信を失っているやに思え、気がかりです。一（説明責任）の向上に

「男は黙って…」でなく「聞こえているか」「見えていないか」「伝わっているか」チェックしながら情報収集し、自信をもって発信していきたい。内向きから外向きに、過去

「悪い情報ほど早く報告」「省益を捨て、国益に徹する」「これは自分の仕事ではないと言わず、自分の仕事を探せ」の4項目で「公務員の心得」というべきものです。「職員が誇りを持つ

「国から地方へ、官から民へ」の流れの中「無駄ゼロ」の推進など状況は厳しいですが、国交省も本来のミッションをどくし、内外の様々な意見を受け止め、コミ

「聞こえているか」「見えていないか」「伝わっているか」チェックしながら情報収集し、自信をもって発信していきたい。内向きから外向きに、過去が厳正、的確に遂行する

めることが重要です。